

2005年4月
名古屋市長選挙に
出馬表明

若さ・実直・行動力

48才

くれまつ^{さ いち}佐一

プロフィール

《経歴》1956年生。78年 名古屋大学理学部物理学卒業・同年 めいきん生協に就職（牛乳・共同講入配達、鮮魚・青果等担当後、名東区・目進方面の支部長）・81年 名勤生協労組執行委員長・91年 休職、労働組合専従、生協労連東海地本執行委員長・99年 日本福祉大学大学院に社会人入学、情報・経営開発研究科修士課程修了・01年 愛労連事務局長に就任・03年 名古屋地裁裁判所委員・現在48歳 守山区在住。めいきん生協職員、愛労連（愛知県労働組合総連合）事務局長《家族》妻、子2人。《趣味》山登り、読書、ブラスバンド。《著書》生協への提言（桜井書店、共著）

よびかけ

私は生協のお母さんたちと一緒に日々の暮らしを守る仕事をしてきました。また組合員とともに消費税や平和の運動を経験させていただきました。愛労連でも市民運動の経験を生かし、メディア関係者や市民運動のみなさんと共同を進めてきました。

いま、市民のくらしがとてみたいへんになっています。こんな時に松原市長は大型事業を聖域にしておいて、市民生活に関わる大切な施策をばっさり切り捨ててきました。

腐敗や無駄遣いをなくすこと、市の職員が市長から一般職員まで「市民のための市政」で一致することができれば、限られた財政のなかでも市政を大きく変えることができると思います。

30代、40代の新しい世代が展望をもてる社会を、一緒につくっていきましょう。

みんなの市政

2005年1月号外 「名古屋・革新市政の会」の見解を紹介します。

名古屋・革新市政の会

名古屋市北区柳原3-7-8 名古屋・革新市政の会 TEL.052-916-2148 FAX.052-916-4189

URL: <http://www.n-kakusin.jp/> E-mail: voice@n-kakusin.jp



くれまつ 佐一 の 「なごや改革宣言」 くらし・参画・次世代

暮らしを第一に憲法を生かす市政を

- 若者からお年寄りまで豊かに住み続けられる名古屋に
- 「子ども局」を設置し、子どもをまもり子育て世代を応援、保育所の待機児童解消児童虐待への対応強化など総合的な施策の強化。
- 30人学級を実現し学力・知力の向上。
- 福祉・医療・保健・介護を充実し、お年寄りや障害者が安心して暮らせるまち。
- 災害に強いまちづくり。
- 環境先進都市に。



仕事も商売も安心の名古屋に

- 青年・失業者への雇用対策の強化。地元中小企業の育成と起業支援。
- 大型店の出店・撤退は住民の合意で。消費税の引き上げに反対。
- 財政をたて直し清潔で開かれた市政運営に。
- 市民犠牲ではなく「財政検討委員会」を市民参加で設置。公共事業は生活環境優先に転換。事業評価委員会（仮称）を設置し、大型開発事業の中止を含む積極的な見直し。
- 政官業ゆ着をたち、清潔な市政に。

市民参加で全国に誇れる名古屋に

- 各区に区政運営委員会（仮称）を設置し、あらゆる階層・世代からの知恵と力を結集。
- 市民参加の担い手の職員づくりをすすめる。
- 名古屋市政を平和の発信拠点に。



平和な名古屋を イラク派兵・憲法改悪は許しません

くれまつ佐一さんは、これまで消費者運動、学童保育、消費税増税反対、憲法改悪に反対するとりくみなど、幅広い市民運動のリーダーとして、そして労働運動でも活動してきました。

昨年春にはイラクでの日本人人質を救出するためにアルジャジーラに人質解放を訴え、プロ野球労組の署名を愛知で集める中心的役割をはたし、福井の水害では支援ボランティアの先頭にたちました。

まさに、名古屋市政運営のリーダーにふさわしい行動力の持ち主です。



市民不在の松原市政に異議あり

松原市長は、市民の暮らし、福祉をバツサリ切り捨てましたが、一方でフジチクの不正には手をつけようとしない。悪政の大本である小泉「構造改革」やイラクへの自衛隊派兵、憲法改悪の動きにも一言もありません。この市政を変えなければなりません。

◆市民犠牲ストップ、清潔で開かれた市政へ

松原市長は、敬老バス有料化、国保の改悪、保育料引き上げなど市民負担増を押しつけ、学校では予算削減で廊下の蛍光灯を減らし、プールの回数を減らしています。

一方、大型公共事業で借金が増え続けているのに、トヨタ優遇の駅前再開発など、ムダ・浪費の大型開発は今後も続け、大規模な企業誘致・優遇に熱中しようとしています。

道路清掃談合事件、日歯連事件、さらにフジチク問題など、相次いだ政治腐敗事件への抜本対策もありません

